

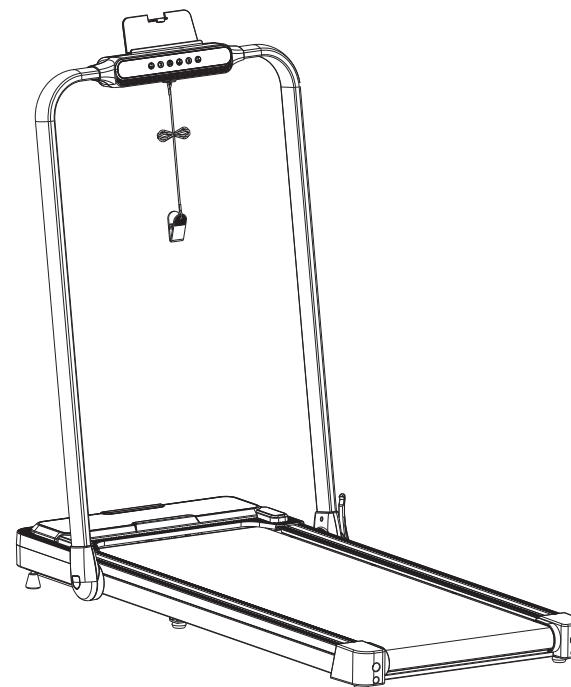
EN | DE | FR | ES | IT | JP



Product Instruction Manual

TREADMILL PLUS

Model NO:T4225



Please read the instruction carefully before using.

目次

1. 安全上の注意および警告事項	02
2. 製品紹介	06
3. 組立手順	08
4. 折りたたみハンドルの張りの調整	10
5. 運動のお勧めおよびガイダンス	11
6. 基本的な使い方	13
7. 一般的な不具合およびトラブルシューティング	17
8. 製品の保守	18
9. サービスの誓約	19
10. FCC適合宣言	20

02 安全上の注意および警告事項

1. 安全上の注意および警告事項

注意: 使用前に取扱説明書をよく読み、以下の安全上の注意事項にご留意してください。

- ★トレッドミルは湿気を避けるために通気性の良い乾燥した屋内に配置してください。水がモーターに入ることによる損傷を防ぐために、トレッドミルの上に異物を置かないでください。
- ★運動を始める前に、適切なスポーツウェアとプロ仕様のスポーツシューズを着用し、全身のストレッチ活動を行ってください。トレッドミルの上で裸足で運動しないでください。
- ★電源プラグはしっかりと接地され、使用されるコンセントは他の電気機器と電源を共有しないよう、専用の回路を設けてください。
- ★事故防止のため子供を近づけないでください。
- ★トレッドミルを過負荷の状態では長時間動作させないでください。モーターやコントローラーの損傷、ベアリング、ランニングベルト、デッキの摩耗を加速させる可能性があります。定期的なメンテナンスをお勧めします。
- ★電子製品とコントローラーの正常な動作を維持するためには、室内のほこりを減らし、静電気による強い干渉を防ぐために室内の湿度を適切に保ってください。
- ★使用後は、必ずトレッドミルの電源を切ってください。
- ★トレッドミルを使用する際は、室内の空気循環を維持してください。
- ★運動中に不快感や異常な状態を感じた場合は、すぐに停止し、医療専門家に相談してください。
- ★シリコンオイルを使用した後は、誤飲による重大な結果を避けるため、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ★トレッドミルの後ろの安全エリアは1000*2000mmです。
- ★緊急時にトレッドミルから飛び降りる方法は以下の通りです。
- ★両手でアームを持ち、体を持ち上げ、同時に両足をサイドレールに置き、片側からトレッドミルから飛び降りてください。
- ★トレッドミルをカーペットの上に置かないでください。通気性と冷却効率が低下し、モーターの過熱が引き起こされる可能性があります。
- ★トレッドミルを平らでない床に置かないでください。使用中の不安定さやトレッドミルの損傷が発生する可能性があります。

警告: 事故防止のため、次の規則に従ってください。

- ★トレッドミルを使用する前に、衣服のファスナーがきちんと閉まっているか確認してください。
- ★トレッドミルに引っかかる可能性のあるアイテムを身に着けないでください。
- ★電源コードを熱源から遠ざけてください。
- ★子供がトレッドミルに近づかないようにしてください。
- ★トレッドミルを屋外で使用しないでください。
- ★トレッドミルを移動する前に電源を切ってください。
- ★専門家の監視なしで上部カバーおよび左右のリアシートを開けないでください。
- ★トレッドミルでの運動は1人限定です。
- ★運動中にめまい、胸の痛み、吐き気、または呼吸困難を感じた場合はすぐに停止し、医療専門家に相談してください。

警告!必須!

治療中の方や次のような方は、必ず専門医に相談してから使用してください。

- (1) 腰痛を経験している患者、または脚、腰、頸部に傷害を負ったことのある方、または脚、腰、頸、腕部に痛みを感じている方（椎間板ヘルニア、脊椎すべり、頸椎突出などの慢性患者）。
- (2) 変形性関節症、リウマチ、または痛みを伴うリウマチの方。
- (3) 骨粗しょう症などの異常のある方。
- (4) 循環器系疾患（心疾患、血管疾患、高血圧など）のある方。
- (5) 呼吸器疾患のある方。
- (6) 人工ペースメーカーまたは植え込み型医療用電子機器を使用している方。
- (7) 悪性腫瘍を持つ方。
- (8) 血栓症や重篤な血液循環障害、急性静脈炎等のある方。
- (9) 糖尿病などの状態による末梢循環障害を持つ方。
- (10) 皮膚に創傷のある方。
- (11) 疾病による発熱の方（皮膚温度が38℃以上になる場合）。
- (12) 異常または湾曲した背中を持つ方。
- (13) 妊娠中または妊娠の可能性のある方、または月経中の方。
- (14) 通常とは異なる不快感を感じる方。
- (15) 体調不良が明らかな方。
- (16) リハビリテーションの目的で機器を使用している方。
- (17) 上記以外の状況で体の異常を感じる方は使用しないでください。
— 使用は事故や体調の悪化を引き起こす可能性があります。

- ◆ 異常な痛み、例えば腰痛、足のしびれ、めまい、異常な心拍、通常と異なる不快感などを感じた場合、ただちに中止し、医療専門家に相談してください。
- ◆ 子供に本製品を使用させたり、その周りで遊ばせたりしないでください。
— この規則に従わないと、怪我につながる恐れがあります。
- ◆ 子供の監督者は、子供たちが本製品で遊ばないように注意する必要があります。
— この規則に従わないと、怪我につながる恐れがあります。
- ◆ 使用中または製品の積み降ろしの際に、製品の周り（後方、底部、前方）に人やペットがいないことを確認してください。

禁止!

- ◆ 装置の筐体がひび割れ、破損、脱落（内部構造が露出している）か、溶接部分が外れている場合は使用しないでください。
— そうでないと、事故やけがの原因となる可能性があります。
- ◆ 運動中にトレッドミルから飛び降りたりしないでください。
— そうすることで転倒やけがの原因となる可能性があります。
- ◆ トレッドミルを屋外、浴室、湿気の多いまたは湿りやすい場所に使用または保管しないでください。
- ◆ トレッドミルを直射日光の当たる場所や暖炉の周り、電気毛布などの加熱装置の近くに置かないでください。
— そうでないと、電気漏れや火災の原因となる可能性があります。

- ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているか、コンセントが緩んでいる場合は、トレッドミルを使用しないでください。
— そうでないと、感電、ショートサーキット、または火災の原因となる可能性があります。
- ◆ 電源コードを損傷させたり、曲げたり、ねじったりしないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードをつまんだりしないでください。
— そうでないと、漏電や火災が発生する可能性があり、感電またはショートサーキットが発生する可能性があります。
- ◆ トレッドミルは2人以上で同時に使用しないでください。使用中に周りに他の人がいないことに注意してください。
— そうでないと、事故やけがの原因となる可能性があります。
- ◆ 意識を表現できないまたはトレッドミルを独立して操作できない方には使用させないでください。
— そうすることで事故やけがの原因となる可能性があります。

トレッドミルを分解しないでください!

- ◆ トレッドミルを分解、修理したり、トレッドミルの部品を交換することは絶対に禁止されています。
— 機械の故障によりけがの危険があります。

水との接触を避けてください!

- ◆ 本体または制御部品が水や他の導電性の液体に触れないようにしてください。
— そうしないと、感電や火災の原因となる可能性があります。

禁止!

- ◆ 日頃運動をしていない人が、急激な運動に従事しないでください。
— 健康に損害を与える可能性があります。
- ◆ 飲み物を飲んだ後、疲労を感じた後、運動の初期段階、または体が異常な状態の場合は使用しないでください。
— けがの原因となる可能性があります。
- ◆ 本製品は家庭用に適しており、学校やジムなど複数の一般ユーザーがいる場所には適していません。
- ◆ 飲食中、食事中、その他活動中に使用しないでください。
- ◆ 飲み物を飲んだ後に元気がないときに使用しないでください。
— 事故やけがの原因となる可能性があります。
- ◆ パンツのポケットに硬い物を入れたまま使用しないでください。
— 事故やけがの原因となる可能性があります。
- ◆ 電源プラグに針、ゴミ、または水が付着しないようにしてください。
— 感電、ショートサーキット、または火災の原因となる可能性があります。
- ◆ 使用中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「オフ」に切り替えないでください。
— けがの原因となる可能性があります。

濡れ手禁止！

- ◆ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 感電およびけがの原因となる可能性があります。

電源プラグを引き抜く！

- ◆ 本製品を使用していない場合は、コンセントから電源プラグを引き抜いてください。
- ホコリと湿気た空気により絶縁が劣化し、漏電または火災の原因となる可能性があります。
- ◆ メンテナンス時には、必ずコンセントから電源プラグを引き抜いてください。
- そうしないと、感電またはけがの原因となる可能性があります。
- ◆ 装置が起動しないか、異常が発生した場合は、使用を中止してください。即座に電源プラグを引き抜き、専門家に点検および修理を依頼してください。
- そうしないと、感電またはけがの原因となる可能性があります。
- ◆ 停電時には、電源プラグを直ちに引き抜いてください。
- そうしないと、電力が復旧した際に事故やけがが発生する可能性があります。
- ◆ 電源プラグを引き抜く際には、ワイヤ部分を引っ張らずにプラグを握って引き抜いてください。
- そうでないと、ショートサーキット、感電、または火災の原因となる可能性があります。

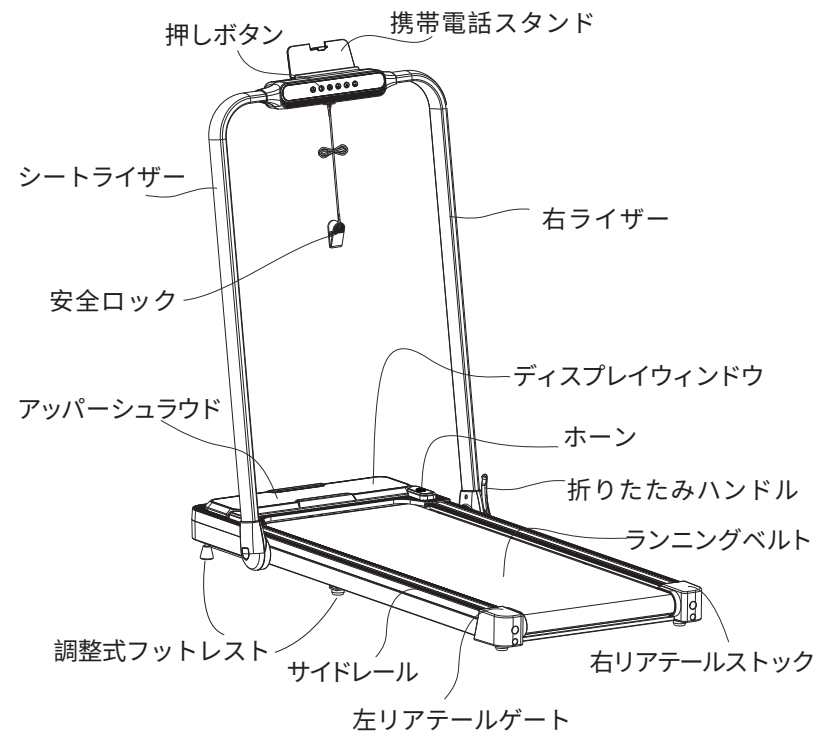
接地必要！

- ◆ 本製品は接地が必要です。製品が誤動作した場合、接地することで電流の抵抗が最小になり、感電の危険性が低減されます。
- ◆ 本製品にはデバイスを接地するためのアース線とアース付きプラグが備わっています。このプラグは、地域の法規または法的要件を完全に満たす適切に設置および接地されたコンセントに挿入する必要があります。

危険！

- ◆ 製品の接地導体の不適切な接続は感電の危険を引き起こす可能性があります。製品の接地について疑問がある場合は、専門の電気技師に点検を依頼してください。製品に付属しているプラグがコンセントに合わない場合でも、改造しないでください。
- 適切なコンセントを専門の電気技師に設置してもらってください。
- ◆ 本製品にはアース付きプラグが付いています。プラグの形状に合ったコンセントに接続してください。
- 本製品をアダプタに接続することはできません。

2. 製品紹介



梱包リスト:

番号	名称	数量	備考
1	本体	1	
2	部品パッケージ	1	添付の表を参照

技術仕様

動作電圧	AC 220-240V 50/60Hz
最大荷重	120kg
製品寸法	1239*642*1126mm
折畳寸法	1379*642*119mm
ランニングボード面積	420*1020mm
最大出力	2.5HP
表示速度	1-12km/h
制御方法	リモコン、電子ディスプレイ

付属品（部品スペアパーツパッケージリスト）

番号	名称		備考
1	十字穴付き皿頭タッピンねじ	2	固定式携帯電話ホルダー
2	5# 六角レンチ	1	その他
3	6#六角レンチ	1	ランニングベルトの調整
4	ダルレンチ	1	
5	ソケットレンチ	1	
6	携帯電話ホルダー	1	
7	リモコン	1	
8	安全ロック	1	
9	メチルシリコンオイル	1	
10	取扱説明書、適合証明書	1	
11	電源コード	1	

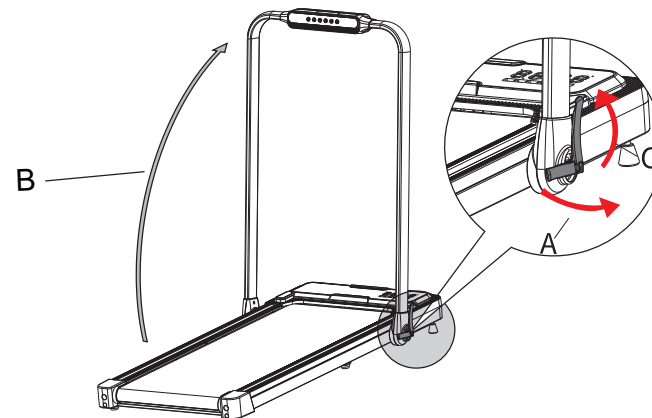
08 組立手順

3. 組立手順

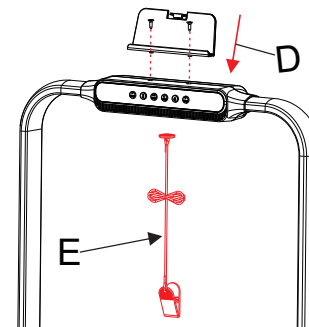
1. 本体を開梱した後、図のステップ（A）に示すように床に置きます。「折りたたみハンドル」をステップに示す方向に折り、コンソールマストの下端が自然に両側に開きます。

下記のステップ（B）に示すように、コンソールマストを上限位置まで持ち上げます。

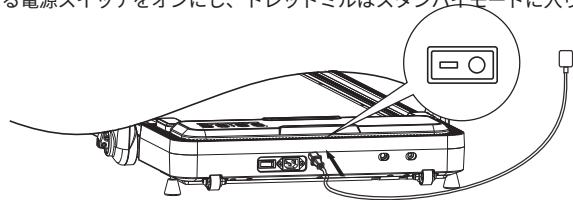
下記のステップ（C）に示すように、「折りたたみハンドル」を押し下げてコンソールマストをロックします。



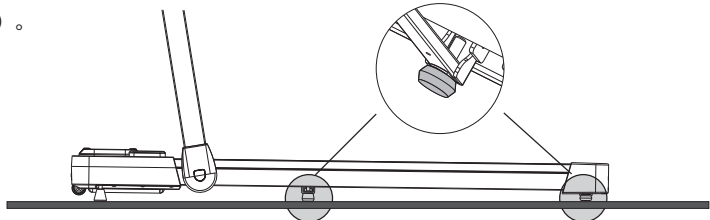
2. 下図のステップ(D)に示すように、5#の内側六角レンチを使い、2本のST4.2*16十字穴付き皿ネジを固定し、電話ブラケットをコンソールの上部に固定します。赤いセーフティーロック(E)はコントロールパネル下の黄色い位置にマグネットで固定します。トレッドミルを使用する際は、安全ロックの一端を衣服の端に留めてください。



3. 下図のように、電源コードをトレッドミルの前面ソケットに差し込みます。トレッドミル前面下部にある電源スイッチをオンにし、トレッドミルはスタンバイモードに入ります。

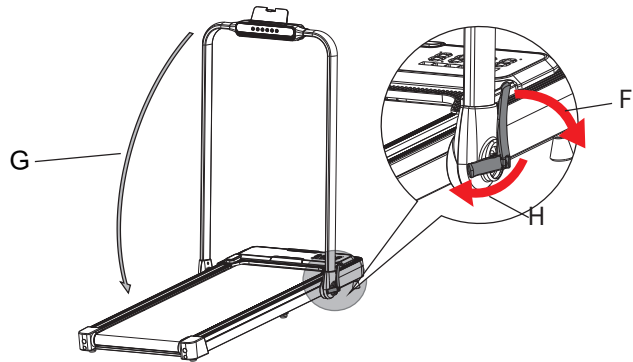


4. 地面が平らでないかトレッドミルが揺れる場合は、トレッドミルの中央および後部の調整可能な脚脚を適切な位置に調整します。脚は地面に密着している必要があります（下記参照）。



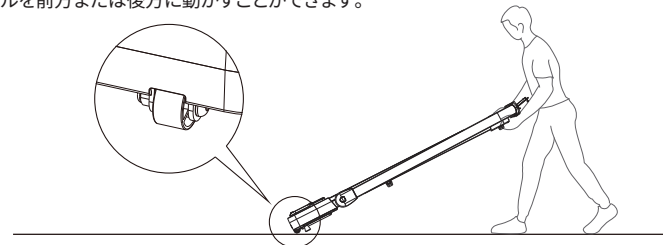
トレッドミルの折りたたみと移動

1. 下記のステップ(F)に示すように、「折りたたみハンドル」を図の方向にこじ開けます。を図の方向にこじ開けます。この時、アップライト・コラムの下端は自然に左右に広がります。下の手順(G)に示す方向に、アップライト・コラムを折り畳み限界点までゆっくりと下ろします。下の手順(H)に示す方向で、「折りたたみハンドル」を押し下げ、アップライト・コラムをロックします。



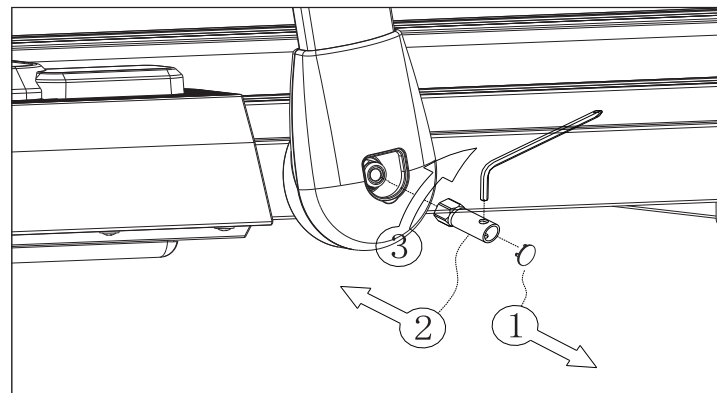
10 折りたたみハンドルの張りの調整

2. テッドミルを移動させるには、前のステップに従ってアップライトコラムを折りたたみます。移動する前に、必ずトレッドミルの電源コードを抜いてください。その後、両手でトレッドミルの後部を持ち上げ、動輪が地面に接するようにし、前部2つのフットパッドが地面から浮くようにします。これにより、トレッドミルを前方または後方に動かすことができます。



4. 折りたたみハンドルの張りの調整

出荷時に少し適切な張りに調整されていますが、個々の手首の強度の違いにより、ユーザーは好みに合わせて折りたたみハンドルを調整できます。緩めすぎるとコンソールマストの折りたたみ部分と本体のクリアランスが大きくなり、トレッドミルの揺れの原因となりますので、緩めすぎには注意してください。図のステップ①に示すように、左コンソールマストの下端のプラグを外します。六角ソケットレンチとソケットレンチをレバーに組み合わせます。次に、図のステップ②に示すように、ソケットレンチの六角ヘッドを左コンソールマストの下端の穴に挿入し、六角ネジに合わせて時計回りに締め、反時計回りに回すと少し緩めます。少し



5. 運動のお勧めおよびガイドンス

ウォームアップ

各セッションの前には、5-10分のウォームアップが必要です。

呼吸

運動中は息を止めないでください。動きに合わせて規則正しく呼吸してください。呼吸が速くなりすぎたら、すぐに運動を停止してください。

頻度

同じ筋肉グループのトレーニングは48時間の休息が必要であり、つまり同じ筋肉グループは連続してトレーニングしてはいけません。

トレーニングの負荷

トレーニングの負荷は個人のフィットネスレベルに基づいて決定し、徐々に負荷をかける原則に従って練習します。初期のトレーニングでは筋肉の痛みが正常です。一貫した運動で痛みは徐々に引いていきます。

リラックス

各トレーニングセッション後に5分間のクールダウンを行い、長時間の緊張を防ぎ、筋肉の弾力性を維持するために、足の筋肉をほぐします。

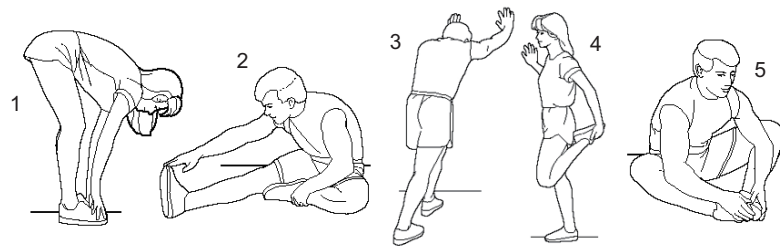
食事と水分補給

食事の1時間後に運動することをお勧めし、運動直後に食事を摂取しないようにしてください。運動中は控えめに水を飲むことをお勧めします。特に心臓や腎臓に負担をかけないよう大量摂取は避けてください。

12 運動のお勧めおよびガイドンス

ストレッチエクササイズ

トレッドミルを使用する前にストレッチエクササイズを始めることがお勧めです。温まった筋肉は柔軟性がありますので、5-10分かけてウォームアップを行います。ランニングの前には、以下のストレッチエクササイズを実施します（各足について5回、それぞれ10秒以上）。トレッドミル走った後にもこのエクササイズを繰り返してください。



1. 前方ストレッチ

両膝を少し曲げ、背中と肩の力を抜いてゆっくりと前傾します。手でつま先に触れようとしてください。10-15秒間保持してからリラックスします。3回繰り返します（図1参照）。

2. アキレス腱のストレッチ

清潔なマットに座り、片足を伸ばします。もう一方の足を内側に引き寄せ、まっすぐな足の内側に押し付けます。手でつま先に触れようとしてください。10-15秒間保持してからリラックスします。各足について3回繰り返します（図2参照）。

3. ふくらはぎと踵の腱のストレッチ

壁に両手をついて立ち、片足を後ろに出してください。後ろの脚をまっすぐに伸ばし、かかとを地面につけたまま、壁に寄りかかります。10-15秒間保持してからリラックスします。各足について3回繰り返します（図3参照）。

4. 大腿筋のストレッチ

左手で壁やテーブルにつかまってバランスをとり、右手を後方に伸ばして右足首をつかみ、太ももの前面に張りを感じるまでゆっくりとお尻のほうに引きします。10-15秒間保持してからリラックスします。各足について3回繰り返します（図4参照）。

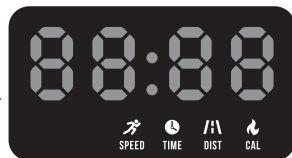
5. アダクター（内腿筋）のストレッチ

足を向かい合わせにし、膝を外側に向けます。しゃがみ込んで、両足を引っ張り、鼠径部に引き寄せます。10-15秒間保持してからリラックスします。3回繰り返します（図5参照）。

6. 基本的な使い方

ディスプレイ

ディスプレイは開始時にカウントダウンを表示し、「3」「2」「1」を表示します。操作中は、自動的に5秒ごとに異なるディスプレイセクションに切り替わります（順番に「SPEED」、「TIME」、「DIST」、「CAL」）。



1. 操作中、LEDディスプレイは5秒ごとにこれらの指標表示に切り替わります。
2. スタンバイ状態では、操作がない場合、ディスプレイは10分後にスリープ状態になり、キー、リモコン、セキュリティロックで起動できます。

ディスプレイ指標の範囲

設定パラメータ	初期値	表示範囲
時間（分：秒）	0:00	0:00—99:59
速度（km/h）	1.0	1.0-12.0
距離（km）	0.00	0.00-99.99
カロリー（kcal）	0.0	0.0-9999

リモコンペアリング方法

セーフティロックが外れた状態で、リモコンで「I>」ボタンを押し続けます。トレッドミルのブザーから連続するピープ音が聞こえたら、ペアリングが成功したことを示します。その後、リモコンを使用してトレッドミルを操作できます。一度ペアリングが行われると、その後の使用では再度ペアリングが必要ありません。

Bluetoothオーディオ接続

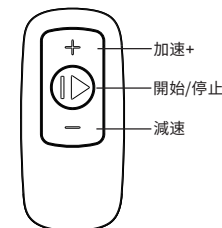
1. スタンバイモードでは、携帯電話のBluetoothを開き、このトレッドミルのBluetoothオーディオ名 "Mobvoi TMP" を検索し、リモコンの "-" キーを押すと、携帯電話は、検索し、このトレッドミルの対応するBluetooth名 (Mobvoi TMP) を表示し、接続する] をクリックします。
2. Bluetoothオーディオに接続した後、スタンバイモードで、携帯電話でBluetoothオーディオを切断するには、リモコンの "-" キーを押します。

リモコンの機能

1. 開始/停止: スタンバイモードでリモコンの「開始/停止」ボタンを押すと、トレッドミルが3秒のカウントダウンを開始し、1.0 km/hの速度で動作します。運動中にはいつでも「開始/停止」ボタンを押してモーターを停止できます。

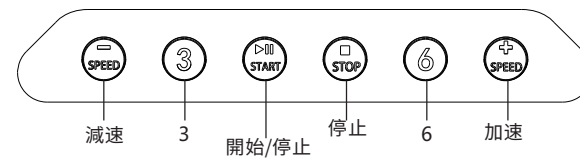
14 基本的な使い方

2. トレッドミルが動作している間、リモコンの「+」ボタンを短く押すと速度が徐々に上昇します。長押しすると速度が急速に上昇します。速度は0.5 km/hの単位で連続的に上昇します。



3. トレッドミルが動作している間、リモコンの「-」ボタンを短く押すと速度が徐々に低下します。長押しすると速度が急速に低下します。速度は0.5 km/hの単位で連続的に低下します。

ボタンの説明



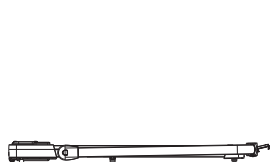
1. 機能ボタン: 「減速-」、「3」、「開始/一時停止」、「停止」、「6」「減速」、「3」、「開始/一時停止」、「停止」、「6」、「加速」、「加速+」。
- A. 「開始/一時停止」ボタン: 待機モードでは、「I>」ボタンを押してトレッドミルを起動します。動作中は、「I>」ボタンを押してトレッドミルを一時停止します（注: 一時停止後、ディスプレイには「一時停止」が表示され、再開には3333、2222、1111のカウントダウンが表示され、最小速度に戻ります）。
- B. 「減速」トレッドミルが動作中に、ディスプレイの "-" ボタンを短押しすると徐々に減速し、長押しすると急激に減速し、速度が連続的に減少します。減少単位は0.5 km/hです。
- C. 「加速」トレッドミルが動作中に、ディスプレイの "+" ボタンを短押しすると徐々に加速し、長押しすると急激に加速し、速度が連続的に増加します。増加単位は0.5 km/hです。
- D. 3: 速度ショートカットキー "3"。
- E. 6: 速度ショートカットキー "6"。
- F. 停止ボタン: 動作中または一時停止状態で、停止ボタンを押すとトレッドミルの操作が終了します。

安全クリップ機能

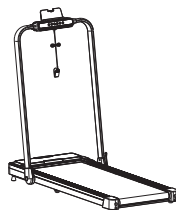
安全クリップを解除すると、トレッドミルのディスプレイにエラーコード "E07" が表示されます。トレッドミルが動作中に安全クリップを取り外すと、緊急停止が発生します。安全クリップがトレッドミルから取り外された状態では、操作はできません。

ウォーキングモードとランニングモード

ウォーキングモードとランニングモードがあります。折りたたまれた状態（コンソールマストがトレッドミルに平行）では、トレッドミルはウォーキングモードで、速度範囲は1-6 km/hです。展開された状態では、トレッドミルはランニングモードで、速度範囲は1-12 km/hです。



ウォーキングモード



ランニングモード

Mobvoi ホームトレッドミルスマート体験

Wear OS by Google™を搭載したスマートウォッチを接続し、Mobvoiトレッドミルアプリをスマートウォッチにインストールすることで、トレッドミル体験をより充実させることができます。これにより、スマートウォッチとトレッドミルの両方で運動データを継続的に追跡し、心拍数を同時にモニターすることができます。

Mobvoiトレッドミルアプリのダウンロードとインストール

1. スマートウォッチでPlay Storeを開きます。"Mobvoi Treadmill"と検索してアプリをインストールします。
2. 同様に、Play Storeで"Mobvoi Account"アプリを検索してインストールします。



Mobvoi Treadmill



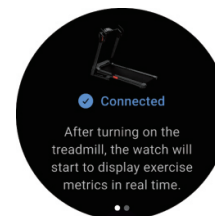
Mobvoi Account

3. Mobvoi アカウントにサインインします。

- a. インストール後、ウォッチプラットフォームとMobvoi Treadmillアプリを開きます。ウォッチまたは電話を使用してMobvoiアカウントでログインするオプションを選択します。
- b. Mobvoiアカウントをお持ちでない場合は、電話からログインするオプションを選択し、ガイドに従ってアカウント登録を完了してください。

Mobvoi Treadmill アプリの体験

1. テッドミルがBluetoothモードで電源が入っており、スマートウォッチのBluetoothが有効になっていることを確認してください。スマートウォッチでMobvoi Treadmillアプリを開き、「デバイス接続」を選択し、トレッドミルとスマートウォッチの間での自動ペアリングを確認し、接続が成功したことを確認します。



2. ペアリングが成功したら、運動中にスマートウォッチ上のMobvoi Treadmillアプリから心拍数データ、運動記録、運動時間、速度、積算距離、カロリー、ペースなどのリアルタイム情報に直接アクセスできます。



3. ワークアウト中にデータをモニターし、トレッドミルを低速に設定して方の安全性を確保します。
4. エクササイズセッションの終了時には、スマートウォッチプラットフォームが包括的なスポーツ記録を生成します。

携帯電話でMobvoi Health アプリを体験

スマートウォッチのデータを携帯電話のMobvoi Healthアプリに同期して、完全なエクササイズ体験を得ることができます。

1. アプリストアでMobvoiアプリを検索し、ダウンロードしてインストールします。Mobvoiアカウントにログインします。
2. モバイルMobvoiアプリで「スポーツカード」に移動して、Mobvoi Treadmillアプリからの運動履歴を確認します。
3. モバイルMobvoiアプリで詳細なデータ記録にアクセスし、他の人と運動履歴を共有してフィットネスの旅を向上させます。

7. 一般的な不具合およびトラブルシューティング

その他ご不明な点がございましたら、お近くの販売店または弊社アフターサービスまでお問い合わせください。

不具合	可能な原因	トラブルシューティング手順
トレッドミルが動作しません。 ランニングベルトがスムーズに動作しません。	電源が接続されていない。	電源コードをコンセントに差し込んでください。
	電源がオンになっていない。	電源スイッチをONの位置にしてください。
	回路信号システムの故障。	コントローラーの入力と信号ラインを確認してください。
ランニングベルトがずれます。	十分な潤滑がない。	メチルシリコンオイル潤滑剤を適用してください。
	ランニングベルトが締めすぎている。	ランニングベルトの張りを調整してください。
不具合。	ランニングベルトが緩んでいる。	ランニングベルトの張りを調整してください。
	ベルトが緩んでいる。	ベルトの張りを調整してください。

ディスプレイのエラーメッセージと解決策

故障コード	可能な原因	トラブルシューティング手順
E01	下部コントロールと電子基板の通信異常。	下部コントロールと電子基板の通信ケーブルが緩んでいないか、切断されていないかを確認します。
E02	1. モーターワイヤが緩んでいるか、切断されている。 2. カーボンブラシが摩耗しているか、ローターに接触していない。 下部コントロールが損傷している。	モーターワイヤが緩んでいないか、切断されていないかを確認します。もし切断されていない場合は、モーターブラシが摩耗していないか、ローターに接触しているかを確認してください。モーターが正常であれば、下部コントロールが損傷している可能性があります。
E05	過負荷保護が作動している。	過負荷が発生した場合、定格電流を超えている場合は、電源を切って再起動してください。
E07	安全クリップがかかっている。	安全クリップがかかっているか、安全クリップのワイヤーが緩んでいるか確認してください。
E08	上段テーブルと下段テーブルの通信異常。	上段テーブルと下段テーブルを接続する通信ラインが緩んでいるか、切断されていないか確認してください。
ディスプレイの異常	外部の干渉。	電源スイッチを切り、1分待ってから電源を入れて再起動してください。

8. 製品の保守

1. 潤滑:

トレッドミルを一定期間使用した後は、専用のメチルシリコンオイルで潤滑する必要があります。

お勧め:

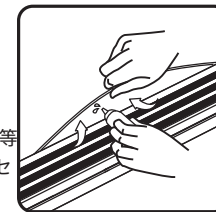
- ★ 1週間の利用時間が3時間未満の場合5ヶ月ごとに潤滑
- ★ 1週間の利用時間が4-7時間の場合2ヶ月ごとに潤滑
- ★ 1週間の利用時間が7時間以上の場合1ヶ月ごとに潤滑

注意: 過度の注油は良くありません。適切な潤滑は、トレッドミルの寿命を向上させるための重要な要素です。

2. 潤滑が必要かどうかの確認:

潤滑が必要かどうかを確認するには、トレッドミルのベルトを持ち上げ、手でベルトの裏の中央に触れます。手にわずかなシリコンオイルの感触がある場合は、潤滑は必要ありません。もしランニングボードが乾燥していて手にシリコンオイルがつかない場合は、潤滑が必要です。

- ★ ランニングボードに潤滑剤を塗布する手順 (右の画像に示す通り)。
- ★ トレッドミルの運転を停止します。
- ★ ランニングベルトの一部を持ち上げ、ベルトの内側、中央にメチルシリコンオイルをスプレーします。
- ★ トレッドミルを時速1.0kmで走行させ、オイルをランニングボードに均等に行き渡らせませす。ベルトを左から右に軽く踏んでください。このプロセスは完全に吸収されるまで数分かかります。



3. ランニングベルトの張り調整:

すべてのトレッドミルは、工場出荷前および家庭での組立組立後にランニングベルトの張りを調整する必要があります。ただし、使用後はベルトが緩むことがあります。走行中にベルトが滑るような場合、ベルトを調整する必要があります。両方の側で同期してベルト調整ボルトを時計回りに回します。

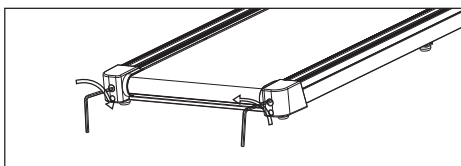
トレッドミルが緩すぎる場合、ランニングベルトとローラーの間にスリッピングが発生する可能性があります。ただし、締めすぎるのは理想的ではありません。これはモーター、ランニングベルト、ローラーなどの部品に損傷を与える可能性があります。

4. ランニングベルトのずれ調整:

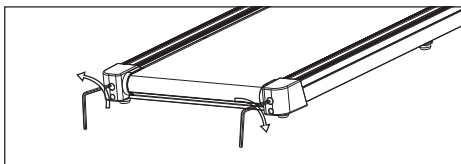
すべてのトレッドミルは、工場出荷前および家庭での組立後にランニングベルトの張り調整が必要です。しかし、次のような原因がある場合、使用後にベルトのずれが生じることがあります。

- ① 安定していない配置;
- ② 均等でない足圧;
- ③ 両足にかかる力の不均等。

ランニングベルトが使用によりずれている場合、数分間無負荷で運転すると通常の操作に戻ります。自動回復が不可能な場合は、付属の6#六角レンチを使用して、徐々に半回転刻みで調整します。



ベルトが左にずれている場合: 左のボルトを時計回りに調整するか、右のボルトを反時計回りに調整します。



ベルトが右にずれている場合: 右のボルトを時計回りに調整するか、左のボルトを反時計回りに調整します。

注意: ランニングベルトのずれは保証の対象外です。取扱説明書に従ってメンテナンスを実施する必要があります。深刻な損傷を防ぐためには、迅速な発見と修正が必要です。

9. サービスの誓約

電動トレッドミルについて、正常な使用の範囲内で1年間、非人為的な損傷に対してユーザーに無料で交換部品を提供します。保証期間終了後は、予備部品を優待価格で提供いたします。

本製品は家庭用にのみ使用することを目的としています。商業利用から生じる問題については責任を負いません。販売後の問題については、現地の販売店のアフターサービスにお問い合わせください。

20 FCC適合宣言

ご購入いただいた製品の保証は、お客様が製品を購入した国で法定の保証サービスを提供いたします。規制遵守に関する詳細な情報や完全なサプライヤーEU適合宣言書は、公式ウェブサイトから入手できます。

詳細については公式サイトをご確認ください: www.mobvoi.com/products

問題が発生した場合は、お気軽にお問い合わせください。カスタマーサポート: support@mobvoi.com

T4225電動トレッドミルには限定保証が適用されます。通常の使用範囲内で1年間、人為的でない損傷などに対してMobvoiはユーザーに無料の部品を提供できます。保証期間が切れた後は、先行購入者に対して予備部品を優待価格で提供することがあります。

メーカー: Jiangxi EQi Industrial Co., Ltd



FCC適合宣言

本製品はテスト済みです。本装置は、アンテナとすべての人との間に最小15cmの距離を保って組立および操作する必要があります。

本製品は、FCC規則の第15部に基いて、クラスBデジタルデバイスに準拠していることがテストにより確認されています。これらの制限は、住宅の環境で有害な干渉から合理的な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波数エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

ただし、特定の組立場所で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本製品がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は、装置をオフにしてオンにし、次のいずれかの手段で干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナを再調整または再配置します。
- 装置と受信機との間の距離を増やします。
- 装置を受信機に接続されている回路とは異なる回路に接続します。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

誓約に責任を持つ当事者によって明示的に承認されていない変更または修正は、製品を操作者の権限を無効にする可能性があります。本製品はFCCルールの第15部に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします

- (1) 本製品は有害な干渉を引き起こしてはいけません
- (2) 本製品は望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。